

積算基準	土木
現場中間検査	不要
工場等派遣中間検査	不要
樹木保険加入	不要

工 事 設 計 書

事業年度	令和 8年度			
設計年月	令和 年 月			
予算科目	款	項	目	節
工事場所	京都市右京区梅ヶ畑高鼻町27番他地内			
路線名又は河川名等				
工事名	京都市北部クリーンセンタートンネル補修工事			
工 期	契約日の翌日から令和 9年 6月30日まで			
事業課(所)名	施設管理課	単 価 使 用 年 月	令和 年 月	
工事番号		歩 掛 適 用 年 月	令和 年 月	
変更回数		基 準 適 用 年 月	令和 年 月	
主 工 種		単 価 地 区		
前 払 金 支 出		調 整 区 分		

京都市 環境政策局

チェック欄	

工 事 概 要

トンネル補修工				式	1
ひび割れ補修工	式	1	断面修復工	式	1
剥落防止対策工	式	1	構造物撤去工	式	1

施 工 理 由

本工事は、京都市北部クリーンセンタートのトンネルが老朽化により損傷しているため、コンクリートのひび割れ箇所等の補修及びトンネル天井部からのコンクリート片剥落防止の対策を行うものである。					
--	--	--	--	--	--

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
工	事	前回	円	円	円
		今回		円	
内	工 事 価 格	前回	円	円	円
		今回		円	
訳	消費税相当額	前回	円	円	円
		今回		円	
支	給 品 費	前回	円	円	円
		今回		円	

積算参考資料（間接費補正一覧）

単 価 使 用 年 月	2026年8月	
歩 掛 適 用 年 月	2026年8月	
基 準 適 用 年 月	2026年8月	
単 価 地 区	2601: I 地区	
調 整 区 分	単独工事	
共通仮設費（率計上）		
主 た る 工 種	13:道路維持工事	
施 工 地 域 等 補 正	大都市（2）	1.5
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
現場管理費		
施 工 地 域 等 補 正	大都市（2）	1.2
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

見積参考資料（細別単価）

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

[illegible]

見積参考資料（材料費等）

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

名称・規格	条件	単位	単価(円)	備考
注入材 アクリル系樹脂接着剤		kg	4,500	
シール材 高粘度アクリル樹脂		kg	6,600	
低圧注入器具 注入器具		個	410	
充填材 アクリル系軽量樹脂モルタル		kg	3,350	
断面修復材 ポリマーセメントモルタル		m3	460,000	
プライマー 2液型アクリル系樹脂プライマー		kg	4,500	可視繊維シート接着 [上り線] [下り線]
可視繊維シート ガラス繊維シート（目付量200g/m2）		m2	2,160	

設計内訳書（本01）

工事名	京都市北部クリーンセンタートンネル補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路修繕							
（夜間）		式	1				
トンネル補修工		式	1				
ひび割れ補修工		式	1				
低圧注入工法 〔上り線〕	1トンネル当り補修延べ延長:25m以下, 材料種類:アクリル系樹脂接着剤	トンネル	1				単 1号
低圧注入工法 〔下り線〕	1トンネル当り補修延べ延長:127.71m, 材料種類:アクリル系樹脂接着剤	トンネル	1				単 2号
充てん工法 〔上り線〕	1トンネル当り補修延べ延長:67.57m, 材料種類:アクリル系軽量樹脂モルタル	トンネル	1				単 3号
充てん工法 〔下り線〕	1トンネル当り補修延べ延長:82.27m, 材料種類:アクリル系軽量樹脂モルタル	トンネル	1				単 4号
殻運搬 (ひび割れ補修工) (人力積込)	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	0.01				単 5号
断面修復工		式	1				
左官工法Ⅰ 〔下り線〕	1トンネル当り修復延べ体積:0.1m3以下, 材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理:有	トンネル	1				単 6号
左官工法Ⅱ 〔下り線〕	1トンネル当り修復延べ体積:0.1m3以下, 材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理:無	トンネル	1				単 7号
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	0.06				単 8号
剥落防止対策工		式	1				

設計内訳書（本01）

工事名	京都市北部クリーンセンタートンネル補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
可視繊維シート接着 [上り線]	下地処理:有,プライマー塗布:有,不陸修正:無,シート接着:有,シート種類:ガラス繊維シート(目付量200g/m2),塗装:無	m2	34				単 9号
可視繊維シート接着 [下り線]	下地処理:有,プライマー塗布:有,不陸修正:無,シート接着:有,シート種類:ガラス繊維シート(目付量200g/m2),塗装:無	m2	53				単 10号
構造物撤去工		式	1				
運搬処理工		式	1				
殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	0.07				単 11号
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	夜間,交通誘導警備員B	人日	80				単 12号
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
現場環境改善費		式	1				
現場環境改善費(積上計上)		式	1				内 1号

設計内訳書（本01）

工事名	京都市北部クリーンセンタートンネル補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

一式当り内訳書

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 1号	現場環境改善費(積上計上)							
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
	現場環境改善費(積上)		式	1				単 26号
	*							
	合計							

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 1号	低圧注入工法 [上り線]	1トンネル当り補修延べ延長:25m以下, 材料種類:アクリル系樹脂接着剤	単位	トンネル	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
トンネル補修工(ひび割れ補修工) (低圧注入工法)		25m以下, 0. 021kg, 0. 264kg, 7個	トンネル	1			単 13号 04-03-19	
合計								
単価							円/トンネル	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 2号	低圧注入工法 [下り線]	1トンネル当り補修延べ延長:127. 71m, 材料種類:アクリル系樹脂接着剤	単位	トンネル	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
トンネル補修工(ひび割れ補修工) (低圧注入工法)		25mを超える, 127. 71m, 2. 938kg, 21. 073kg, 562個	トンネル	1			単 14号 04-03-19	
合計								
単価							円/トンネル	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.710-00001 0.0 0

単 3号	充てん工法 [上り線]	1トンネル当り補修延べ延長:67.57m, 材料種類:アクリル系 軽量樹脂モルタル	単位	トンネル	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
トンネル補修工(ひび割れ補修工) (充てん工法)			トンネル	1			単 15号	
合計								
単価							円/トンネル	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.710-00001 0.0 0

単 4号	充てん工法 [下り線]	1トンネル当り補修延べ延長:82.27m, 材料種類:アクリル系 軽量樹脂モルタル	単位	トンネル	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
トンネル補修工(ひび割れ補修工) (充てん工法)			トンネル	1			単 16号	
合計								
単価							円/トンネル	

1 次単価表

						単価使用年月	2026. 08	
						歩掛適用年月	2026. 08	
						労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0	
単 5号	殻運搬 (ひび割れ補修工) (人力積込)	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬 人力積込 DY1410		コンクリート(無筋)構造物とこわし, 有, 10km以上20km未満	m3	1			単 17号 60-01-12	
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月	2026. 08	
						歩掛適用年月	2026. 08	
						労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0	
単 6号	左官工法 I [下り線]	トンネル当り修復延べ体積:0. 1m3以下, 材料種類:ポ リマーセメントモルタル, 鉄筋グリ ン・鉄筋防錆処理: 有	単位	トンネル	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
トンネル補修工(断面修復工) (左官工法) WB437110		有り, 0. 1m3以下, 0. 04m3	トンネル	1			単 18号 04-03-19	
合計								
単価							円／トンネル	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.710-00001 0.0 0

単 7号	左官工法Ⅱ [下り線]	1トン未満当り修復延べ体積:0.1m3以下,材料種類:ポリマーセメントモルタル,鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理:無	単位	トン未満	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
トン未満補修工(断面修復工) (左官工法)		無し,0.1m3以下,0.09m3	トン未満	1			単 19号 04-03-19	
合計								
単価							円/トン未満	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.710-00001 0.0 0

単 8号	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		有り,16.5km以下,良好	m3	1			単 20号 02-02-09	
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.710-00001 0.0 0

単 9号	可視繊維シート接着 [上り線]	下地処理:有,プライマー塗布:有,不陸修正:無,シート接着:有,シート種類:ガラス繊維シート(目付量200g/m2),塗装:無	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
下地処理			m2	1			単 21号 04-03-19	
プライマー塗布		kg当り,0.2〇/m2	m2	1			単 22号 04-03-19	
シート接着 (含浸接着剤下塗り・上塗り含む)		kg当り,0.6〇/m2	m2	1			単 23号 04-03-19	
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.710-00001 0.0 0

単 10号	可視繊維シート接着 [下り線]	下地処理:有,プライマー塗布:有,不陸修正:無,シート接着:有,シート種類:ガラス繊維シート(目付量200g/m2),塗装:無	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
下地処理			m2	1			単 21号 04-03-19	
WB437210			m2	1			単 22号 04-03-19	
プライマー塗布		kg当り,0.2〇/m2	m2	1			単 23号 04-03-19	
WB437220			m2	1				
シート接着 (含浸接着剤下塗り・上塗り含む)		kg当り,0.6〇/m2	m2	1				
WB437240			m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.710-00001 0.0 0

単 11号	殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)							単 24号 01-14-01	
WB020051			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 12号	交通誘導警備員	夜間, 交通誘導警備員B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B							単 25号 02-05-20	
WB010212			人日	1				
合計								
単価							円／人日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 13号 WB437010	トンネル補修工(ひび割れ補修工) (低圧注入工法)	25m以下, 0. 021kg, 0. 264kg, 7個	単位	トンネル	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役							[] [1]	
	R0125		人	2. 5				
特殊作業員							[] [1]	
	R0101		人	2. 8				
普通作業員							[] [1]	
	R0102		人	3. 5				
高所作業車運転							単 27号 04-03-19	
	WK430710		日	3. 5				
注入材 アクリル系樹脂接着剤								
	Y001633001001		kg	0. 021				
シール材 高粘度アクリル樹脂								
	Y0016700000001		kg	0. 362				
低圧注入器具 注入器具								
	Y001626001001		個	7				
諸雑費(率+まるめ)							[1] []	
	ZS8000004	1%	式	1				
合計								
単価							円/トンネル	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 14号 WB437010	トンネル補修工(ひび割れ補修工) (低圧注入工法)	25mを超える, 127. 71m, 2. 938kg, 21. 073kg, 562個	単位	トンネル	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役							[] [1] []	
	R0125		人	12. 771				
特殊作業員							[] [1] []	
	R0101		人	14. 048				
普通作業員							[] [1] []	
	R0102		人	17. 879				
高所作業車運転							単 27号 04-03-19	
	WK430710		日	17. 879				
注入材 アクリル系樹脂接着剤								
	Y001633001001		kg	2. 938				
シール材 高粘度アクリル樹脂								
	Y0016700000001		kg	28. 87				
低圧注入器具 注入器具								
	Y001626001001		個	562				
諸雑費(率+まるめ)							[1] [] []	
	ZS8000004	1%	式	1				
合計								
単価							円/トンネル	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 15号	トンネル補修工(ひび割れ補修工) (充てん工法)		単位	トンネル	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[] [1]
	R0125		人	2. 906				
	特殊作業員							[] [1]
	R0101		人	4. 392				
	普通作業員							[] [1]
	R0102		人	3. 851				
	高所作業車運転(トラック架装リフト車) ブーム型, 幅広デッキ旋回, 8～10m未満		日	3. 851			単 28号	
	充填材 アクリル系軽量樹脂モルタル		kg	5. 789				
	Y001416000001							
	諸雑費(率+まるめ)							[1] []
	ZS8000004	17%	式	1				
	合計							
	単価						円／トンネル	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 16号	トンネル補修工(ひび割れ補修工) (充てん工法)		単位	トンネル	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[] [1]
	R0125		人	3. 538				
	特殊作業員							[] [1]
	R0101		人	5. 348				
	普通作業員							[] [1]
	R0102		人	4. 689				
	高所作業車運転(トラック架装リフト車) ブーム型, 幅広デッキ旋回, 8～10m未満		日	4. 689			単 28号	
	充填材 アクリル系軽量樹脂モルタル		kg	7. 05				
	Y001416000001							
	諸雑費(率+まるめ)							[1] []
	ZS8000004	17%	式	1				
	合計							
	単価						円/トンネル	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.710-00001 0.0 0

単 17号 DY1410	般運搬 人力積込	コンクリート(無筋)構造物ととりこわし, 有, 10km以上20km未満	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
タンクトラック[オンロード・デ・イセール] 通称2t積級		20, 岩石工の割増対象にしない, 1, 0時間, 交替制を適用しない, 0, しない, しない, 0時間	日	2.82			単 29号 90-03-01	
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 18号 WB437110	トン補修工(断面修復工) (左官工法)	有り, 0. 1m3以下, 0. 04m3	単位	トン	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役							[] [1]	
	R0125		人	3. 8				
特殊作業員							[] [1]	
	R0101		人	6				
普通作業員							[] [1]	
	R0102		人	4				
高所作業車運転							単 30号 04-03-19	
	WK430720		日	3. 8				
断面修復材 ポリマーセメントモルタル								
	Y001627001002		m3	0. 047				
諸雑費(率+まるめ)							[1] []	
	ZS8000004	6%	式	1				
合計								
単価							円/トン	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 19号 WB437110	トン補修工(断面修復工) (左官工法)	無し, 0. 1m3以下, 0. 09m3	単位	トン	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役							[] [1]	
	R0125		人	3. 6				
特殊作業員							[] [1]	
	R0101		人	5. 6				
普通作業員							[] [1]	
	R0102		人	3. 8				
高所作業車運転							単 30号 04-03-19	
	WK430720		日	3. 6				
断面修復材 ポリマーセメントモルタル								
	Y001627001002		m3	0. 106				
諸雑費(率+まるめ)							[1] []	
	ZS8000004	5%	式	1				
合計								
単価							円/トン	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 20号 WB229220	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	有り, 16. 5km以下, 良好	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
普通作業員			人	1. 3				
R0102								
ダンプトラック運転		良好					単 31号 02-02-09	
WK220710			日	1. 83				
諸雑費(まるめ)								
ZS3000004			式	1				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 21号 WB437210	下地処理		単位	m2	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役							[] [1]	
	R0125		人	0. 23				
特殊作業員							[] [1]	
	R0101		人	0. 37				
普通作業員							[] [1]	
	R0102		人	0. 3				
高所作業車運転							単 32号 04-03-19	
	WK430730		日	0. 23				
諸雑費(率+まるめ)							[1][]	
	ZS8000004	30%	式	1				
合計								
単価							円/m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 22号 WB437220	プライマー塗布	kg 当り, 0. 2〇/m2	単位	m2	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役							[] [1]	
	R0125		人	0. 18				
特殊作業員							[] [1]	
	R0101		人	0. 29				
普通作業員							[] [1]	
	R0102		人	0. 23				
高所作業車運転							単 32号 04-03-19	
	WK430730		日	0. 18				
プライマー 2 液型アクリル系樹脂プライマー								
	Y000503000001		kg	2. 34				
諸雑費 (率+まるめ)							[1] []	
	ZS8000004	0. 9%	式	1				
合計								
単価							円/m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 23号 WB437240	シート接着 (含浸接着剤下塗り・上塗り含む)	kg当り, 0. 6〇/m2	単位	m2	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[] [1]
	R0125		人	0. 57				
	特殊作業員							[] [1]
	R0101		人	0. 9				
	普通作業員							[] [1]
	R0102		人	0. 73				
	高所作業車運転						単 32号 04-03-19	
	WK430730		日	0. 57				
	可視繊維シート ガラス繊維シート (目付量200g/m2)							
	Y001631001001		m2	11. 3				
	含浸接着剤 2液型アクリル系樹脂含浸接着剤							
	Y001629001001		kg	7. 02				
	諸雑費(率+まるめ)							[1] []
	ZS8000004	0. 4%	式	1				
	合計							
	単価						円/m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.710-00001 0.0 0

単 24号 WB020051	処分費 (m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 コン殻（無筋）夜間		Y007600000001	m3	100				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 25号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B		R0804	人	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／人日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 26号	現場環境改善費(積上)		単位	式	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
みやこ柚木看板 1100×1400		Z330640020	枚	1				
合計								

3 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 27号 WK430710	高所作業車運転		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
	R0115		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	19				
高所作業車(トラック架装リフト車)フーム型 幅広アッキ旋回 地上高8～10m未満								
	L001081003		日	1. 32				
諸雑費(まるめ)								
	ZS30000004		式	1				
合計								
単価							円／日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 28号	高所作業車運転(トラック架装リフト車) ブーム型, 幅広デッキ旋回, 8～10m未満		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
	R0115		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	19				
高所作業車(トラック架装リフト車)ブーム型 幅広デッキ旋回 地上高8～10m未満								
	L001081003		日	1. 32				
諸雑費(まるめ)								
	ZS30000004		式	1				
合計								
単価							円/日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 29号 K0301001	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級	20, 岩石工の割増対象にしない, 1, 0時間, 交替制を 適用しない, 0, しない, しない, 0時間	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
	R0115		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	20				
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級		機械条件: 供用 持込						
	M000301001		供用日	1. 35				
タイヤ損耗費 2～3t積級 良好 供用日								
	Z010020025		供用日	1. 35				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円／日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 30号 WK430720	高所作業車運転		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
R0115			人	1				
軽油								
Z006702002			L	18				
高所作業車(トラック架装リフト車)フーム型 幅広アッキ旋回 地上高8～10m未満								
L001081003			日	1. 41				
諸雑費(まるめ)								
ZS30000004			式	1				
合計								
単価							円／日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 31号 WK220710	ダンプトラック運転	良好	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
	R0115		人	0. 89				
軽油								
	Z006702002		L	19. 2				
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級		機械条件: 供用 持込						
	M000301002		供用日	1. 02				
タイヤ損耗費 4t積級 良好 供用日								
	Z010020045		供用日	1. 02				
諸雑費(まるめ)								
	ZS30000004		式	1				
合計								
単価							円/日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 710-00001 0. 0 0

単 32号 WK430730	高所作業車運転		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
R0115			人	1				
軽油								
Z006702002			L	22				
高所作業車(トラック架装リフト車)フーム型 幅広アッキ旋回 地上高8～10m未満								
L001081003			日	1. 48				
諸雑費(まるめ)								
ZS30000004			式	1				
合計								
単価							円／日	

特記仕様書（個別工事編）

工事名 京都市北部クリーンセンタートンネル補修工事

工事場所 京都市右京区梅ヶ畑高鼻町２７番他地内

１ 一般事項

第１条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和８年８月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和８年８月）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照

請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000354379.html>

第２条（受注者希望方式による「完全週休２日（土日）」の実施）

１ 本工事は「京都市建設局週休２日工事」の対象（受注者希望方式による「完全週休２日（土日）」）であり、「京都市建設局週休２日工事实施要領」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html>）に基づいて実施する。ただし、「月単位の週休２日」は必須である。

２ 受注者は、契約後すみやかに、「完全週休２日（土日）」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「完全週休２日（土日）」又は「月単位の週休２日」の実施内容を反映させること。

３ 「完全週休２日（土日）」を達成した場合は、工事成績評価の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

４ 「月単位の週休２日」が未達成のもので、明らかに受注者側に「月単位の週休２日」に取り組む姿勢が見られなかった場合については、必要に応じ、工事成績評定点を減ずる措置を行う場合がある。

５ 受注者は、本市が週休２日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休２日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。

６ 工事標示板に「京都市建設局週休２日工事」である旨を明示すること（様式不問）。

第３条（受注者希望方式による「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

１ 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html>）に基づいて実施する。

- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。
- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

第4条（ウィークリースタンスの実施）

本工事は、ウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

- (1) 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。
- (2) 休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。
- (3) 勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。
- (4) 昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。（適正な期限日を設定する。）
- (6) 打合せは Web 会議（ビデオ会議機能）も活用する。

なお、工事の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法（依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等）については、受発注者で確認し、共有する。

第5条（前払金）

- 1 前払金は、各会計年度の出来高予定額の40%以内とし、中間前払金は、同様に20%以内とする。

なお、前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照

<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>

- 2 各会計年度における請負代金の支払限度額及び出来高予定額の割合は、概ね次のとおりとする。

支払限度額の割合

令和 8 年度 24.7 %

令和 9 年度 75.3 %

出来高予定額の割合

令和 8 年度 27.5 %

令和 9 年度 72.5 %

※各会計年度の請負代金の支払限度額及び出来高予定額は、契約書作成時に通知する。

2 現場条件に関する事項

第6条（現場条件）

本工事は北部クリーンセンターへの進入道路を使用して工事を行うため、請負者は本市が行うごみ処理業務及び施設関連工事に支障をきたすことなく、監督職員との連絡を密にし、細心の注意を払い、遅延なきよう工事の進ちょくを図らなければならない。

なお、本工事の施工に当たっては、下記の現場条件等に留意すること。

1 北部クリーンセンター敷地内工事における留意事項は、以下のとおりとする。

- (1) 本工事で同敷地内へ入退場を行う工事関係車両は、決められた入退場ルートを遵守すること。詳細な入退場ルートについては監督職員が指示を行う。
- (2) トンネルを通行止めとする期間については、令和9年1月11日から令和9年4月30日の間とする。また、通行止めの時間帯は21時30分～翌朝5時30分までとする。これを超える時間帯での作業は一切できないものとする。
- (3) 入場は21時以降とし、21時30分にはトンネル入口側に「工事中・通行止め」の注意看板を必ず設置すること。また、翌朝5時15分までに作業を終了し、5時30分迄に通行車両が安全に通行できる状態にしたうえで、作業日毎に交通開放すること。

なお、これらの時間的な制約があることから、現場条件を踏まえた適切な施工計画を立てること。

- (4) 北部クリーンセンター敷地内への入退場に当たっては、車両ごとに車両前面窓側に「北部クリーンセンタートンネル補修工事 工事車両」と記載した「工事車両用明示板」を提示すること。
- (5) 作業に応じて交通誘導警備員を適正に配置し施工を行うこと。特にトンネルを通行止めしたうえでの施工となるため、トンネル入口側及び出口側には必ず交通誘導警備員を配置すること。また、片側交互通行を行う場合、配置箇所で交通誘導警備員が不在にならないようにすること。
- (6) 北部クリーンセンター敷地内では本工事以外にプラント設備の大規模改修、電気設備等の工事を行っており、これらの工事業者に対しても十分な連絡をとり、円滑な工事進捗及びごみ処理の支障とならないように努めること。
- (7) 受注者は、本工事により進入道路、付属施設等に汚れを生じさせた場合は、速やかに清掃を行うこと。
- (8) 受注者は、本工事により搬入道路及び付属施設等を破損した場合は、速やかに監督職員に報告するとともに、監督職員の指示に従い、受注者の責において補修を行うこと。
- (9) 北部クリーンセンター敷地内は一方通行であり、構内信号に従い時速20km以下での走行を厳守すること。
- (10) 緊急時には施設の全面閉鎖（進入道路通行止め）を行うことがあり、閉鎖中は一切の工事車両は入退場できない。これらの条件を踏まえて工事期間内に完成するように工程計画をたてること。
- (11) 当敷地内における作業全般については、監督職員の指示に従い、本市の作業に支障を生じないよう十分注意すること。

- (12) 移動及び作業等に伴い生じた損害（第三者に及ぼした損害を含む）については、受注者においてその責任を負うこと。
- (13) 必要に応じて仮設トイレを設置すること。設置場所等について事前に監督職員の承諾を得ること。
- (14) 工事箇所付近を含む道路上での喫煙は認めない。
- (15) 工事区間以外の道路上は駐停車禁止である。工事区間内も最低限の車両のみの駐車とすること。また、工事関係車両の構内の駐車場所は協議によるものとする。
- (16) 道路上の占用は、原則として作業中のみとし、当日の作業等が完了すれば、安全を確認のうえ、速やかに交通開放すること。
- (17) 施設内の工事に伴い、夜間に大型（特殊）車両が通行する日があるので、あらかじめ日程を調整のうえ交通開放すること。また、緊急車両や施設の運営に必要な車両の通行が必要な場合は、一時的に通行できるようにすること。
- (18) 工事中に事故等が発生した場合は、応急の安全対策等を講じるとともに、直ちに携帯電話等で監督職員に状況を報告すること。
- (19) 作業用電源及び作業用水は受注者側で手配すること。
- (20) 工事に使用する資機材について、残材及び不要物は整理処分する等、資機材の整理整頓に努め、交通障害等が発生しないように努めること。

2 工事に係る留意事項は、次のとおりとする。

- (1) 敷地の都合上、原則として工事車両を留め置きする場所はないので、作業に係る車両は日々回送すること。
- (2) 北部クリーンセンターは山間地にあることに加え、施工期間が冬季であり、施工時間帯が夜間になることから、低温下においても使用可能な材料を選定すること。

なお、施設全体の大規模改修期間であり、輻輳する後続工事があることから、本工事が可能な期間は定められており、工事期間の延期は一切認めない。

第7条（施工時間）

施工時間は夜間とし、標準的な作業時間帯は、21時30分～5時15分とする。ただし、北部クリーンセンターの管理者と協議の結果、施工時間に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第8条（時間的制約を受ける工事の積算方法の対象）

施工時間を第7条のとおりとすることから「時間的制約を受ける工事の積算方法」の工種及び時間的制約状況の程度は以下のとおり計上している。

工種	時間的制約状況の程度
直接工事費の全工種	時間的制約を著しく受ける場合 (作業時間：4時間/日を超え7時間/日以下)

第9条（工程）

本工事において後続の電気設備工事が4月からあることを踏まえ、現場作業が必要な全工種について令和9年4月30日までに完了するよう努めること。

第10条（交通誘導警備員）

- 1 交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、施設管理者等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配 置 場 所	交通誘導警備員 (1日当たりの編成人数)	編 成	昼間・夜間・ 24時間の別	交替要員 の有無
トンネル入口側	1～2 名	交通誘導警備員B 1～2 名	夜 間	無

- 2 上表において交替要員を有としている配置場所については、作業中は交通誘導警備員を常時配置するものとし、休憩時等における交替要員を考慮するものとする。

第11条（工事現場の現場環境改善等）

現場環境改善等の実施項目については、以下のとおりとする。

なお、現場条件等により下記項目に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとする。

- (1) みやこ杉木を使用した木製の工事標示板の設置

（項目、仕様及び設置枚数の例）

項 目	仕 様	設置枚数
工事標示板	・みやこ杉木を用いた看板 - 納品時に、生産事業体が発行する「みやこ杉木の出荷証明書」の原本又は写しを提出すること。 ・看板サイズは1100mm×1400mmとする。 ・表示面はアクリル板とし、アクリル面に業務内容を印字する。（文字数：80字程度）	1 枚

また、設置箇所及び表示する内容については、監督職員と協議のうえ決定するものとする。

3 監督職員の確認に関する事項

第 12 条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

監督職員の指定に基づき実施する材料・資材及び製品
（「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料以外）

工種・種別等	細 別	材料・資材・製品
ひび割れ補修工	低圧注入工法 （注入材）	アクリル系樹脂接着剤 （製品仕様書、納品ロット試験成績表）
	低圧注入工法 （シール材）	高粘度アクリル樹脂 （製品仕様書、納品ロット試験成績表）
	充てん工法 （プライマー）	アクリル系樹脂接着剤 （製品仕様書、納品ロット試験成績表）
	充てん工法 （充てん材）	アクリル系軽量樹脂モルタル （製品仕様書、納品ロット試験成績表）
断面修復工	左官工法 （プライマー）	E V A 系プライマー （製品仕様書、納品ロット試験成績表）
	左官工法 （防錆剤）	ポリマーセメント系鉄筋防錆剤 （製品仕様書、納品ロット試験成績表）
	左官工法 （断面修復材）	ポリマーセメントモルタル （製品仕様書、納品ロット試験成績表）
はく落防止対策工	可視繊維シート （プライマー）	2 液型アクリル樹脂系プライマー （製品仕様書、納品ロット試験成績表）
	可視繊維シート （含浸接着剤）	2 液型アクリル系樹脂含浸接着剤 （製品仕様書、納品ロット試験成績表）
	可視繊維シート	ガラス繊維シート 目付量 200g （製品仕様書、納品ロット試験成績表）

第 13 条（受注者の臨場）

監督職員が行う段階確認においては、主任技術者（又は監理技術者、或いは監理技術者補佐）又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければならない。

らない。

第 14 条（段階確認）

受注者は、共通仕様書（３－１－１－４）の「表３－１－１ 段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録（出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等）と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

監督職員の指定に基づき実施する段階確認（「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目含む）

（「共通仕様書（３－１－１－４）の「表３－１－１ 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認以外」

工種-種別等	細 別	確 認 時 期
ひび割れ補修工	低圧注入工法	施工完了後：状況確認、空袋確認
	充てん工法	施工完了後：状況確認、空袋確認
断面補修工	左官工法	はつり（劣化部除去）完了後：除去状況、防錆処理剤塗布状況 施工完了後：状況確認、空袋確認
はく離防止対策工	可視繊維シート接着	プライマー処理完了時：塗膜状況 施工完了後：接着状況確認、空袋確認

第 15 条（立会確認）

受注者は、次表に示す内容について、監督職員と現地で立会を行い、確認するものとし、監督職員が確認するまでは次の作業に進んではならない。

項 目	確 認 方 法・目 的 等
保安施設設置状況	工事による事故防止のため、監督職員と立会確認をする。 （ただし、立会確認書は必要としない。）

第 16 条（品質管理試験）

本工事の施工に伴う品質管理試験のうち、土木工事施工管理基準（品質管理基準及び規格値）に記載がない試験項目等については、次表のとおりとする。

工種	品目・規格等	試験項目	規格値、試験時期・頻度	備 考
断面修復（現地で配合・練り混ぜを行うもの）	ポリマーセメントモルタル	付着強度試験	1.5N/mm ² 以上 （ 1 回）	0.2m ³
		圧縮強度試験	24N/mm ² 以上 （ 1 回）	1 週・4 週を各 3 個

4 建設副産物に関する事項

第 17 条（建設副産物の適正処理）

1 建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正令和 7 年 3 月 27 日）を遵守すること。特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のある A、B 2、D、E 票については、その原本を監督職員へ提示すること。

<産業廃棄物>

建設副産物	受入場所	備 考
コンクリート塊 (無筋)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 6 項 の許可を受けた施設 京都府亀岡市篠町王子石原畑 1 番 1、王子瓜ノ尾 96 番 1、桜木 22 番 4	設計運搬距離 L = 16.5km

第 18 条（特定建設資材の分別解体等及び再資源化等）

1 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和 7 年 6 月 1 日)(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等)	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑥その他()	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

※ 特定建設資材廃棄物を排出する場合、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理について」に記載のとおりとする。

- 2 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を別に定める18条様式に記載し、監督職員に報告すること。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、18条に基づく報告を省略することができるものとする。

5 その他事項

第 19 条（工事書類の提出）

完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の 40 日前までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の 14 日前までに提出すること。

第 20 条（情報共有システムの利用）

- 1 本工事は、情報共有システム（以下「システム」という。）の利用対象とする。
システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン（令和 8 年 8 月）（※）」（以下「ガイドライン」という。）を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。
- 2 利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。
- 3 システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。
- 4 システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要領」（以下「要領」という。）に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。

なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照
(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html>)

第 21 条（受注者希望型における遠隔臨場の実施）

本工事は受注者の希望により遠隔臨場を行うものとする。

1 目的

本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和 5 年 3 月）及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」（令和 5 年 3 月）の内容に従い実施するものとする。

2 実施内容

(1) 「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施

ア 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により撮影する映像と音声を監督職員へ Web 会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。

イ 遠隔臨場に使用する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的な Android や i-Phone 等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。

なお、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の使用は、「段階確認」、「材料

確認」及び「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

(2) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(3) 費用

遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。

なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。

(4) 成績評価

遠隔臨場を実施した工事の成績評価は、考査項目「創意工夫」において、1点の加点とする。

第22条（トンネル補修工）

1 全般

(1) 施工に関する報告

施工時間帯が夜間になるため、施工に関する報告を、日々メール又は電話等にて行うこと。また、施工の様子は写真にて報告すること。

(2) 施工箇所

ひび割れ補修、断面修復の施工箇所を示すマーキングは、経年により消失していることがあるため、施工に先立ち現地にマーキングするとともに、図面にて監督職員に提出すること。また、同時に剥落防止対策の範囲もマーキングし、図面にて監督職員に提出すること。

2 断面修復

(1) 品質規格

断面修復材は次表を満足するものでなければならない。

左官工法による断面修復材の品質規格

試験項目	試験体の履歴条件	基準値	試験方法
硬化収縮性		硬化収縮率は0.05%以下であること。また、硬化に伴う発熱による反りかえりが無いこと。	JIS A1129-3
コンクリートとの付着性	湿潤時	コンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm ² 以上であること。	JIS A6909
	耐アルカリ試験後		
	温冷繰り返し試験後		
圧縮強度	—	補修設計で定めた設計基準強度以上であること。	JIS R5201

(2) 施工

ア モルタル工

使用する材料は、施工時の天候、温度、湿度、修復面の状態、塗り間隔等に適したものでなければならない。また、工期や時間等の制限があるので、早強タイプを使用すること。

イ コンクリート表面にレイトンス、塵埃、油脂類、塩分等が付着していたり、脆弱部があると、プライマーの接着性能に悪影響を及ぼすことが多いため、これらの有害物は完全に除去すること。

ウ レイトンスや付着塩分および脆弱部の除去は、一般にディスクサンダーやサンドブラスト等を使用して行い、塵埃の除去にはコンプレッサーで清掃すること。

エ 油脂類の除去はシンナーで拭き取ること。

オ コンクリート表面が濡れていたり、湿っている場合には、プライマーの接着性能に悪影響を及ぼすことが多いため、コンクリート表面の含水率は高周波水分計で8%以下であることを確認すること。

カ コンクリートの表面温度が5℃以下であると、表面に塗布した材料が変質したり悪影響を及ぼすことが多いため、この場合は作業を中止するか、5℃以上になってからでなければ作業してはならない。

キ 材料を使用する前に、その種類や配合が仕様書を満足していることを確認しなければならない。

ク 反応硬化(固化)する材料で、可使時間(固化時間または凝固開始時間)を超えた材料は使用してはならない。

ケ 材料の使用量は、空き缶数量検査等により標準使用量を満足しなければならない。

コ 工程ごとに使用した材料の所定の硬化(固化)状況を確認した後でなければ、次の工程に移ってはならない。

サ 断面修復部においては、ハツリ端部の形状がフェザーエッジとならないよう10mm程度の Каттер目地を入れた後にハツリ作業を行うものとする。

3 鉄筋防錆剤

(1) 品質規格

防錆処理材の規格は次表を満足するものでなければならない。

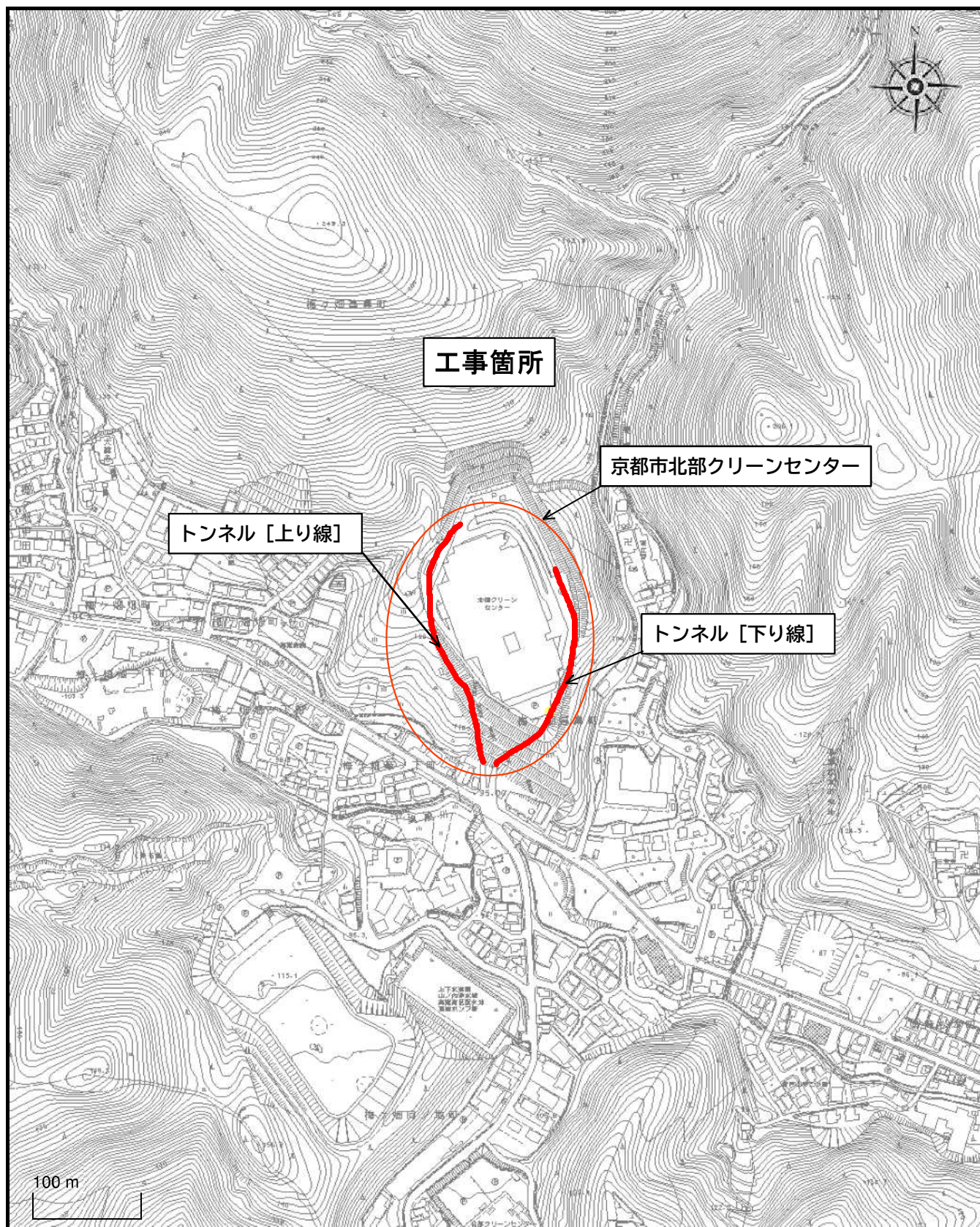
要求性能	試 験 項 目		基準値	試験方法
防錆性	防せい性試験	処理部	防せい率 50%以上	NEXCO「構造物施工管理要領」参照
		未処理部	防せい率 -10%以上	
鉄筋との付着性	鉄筋に対する付着強さ		7.8N/mm ² 以上	
コンクリートとの付着性	耐アルカリ性		塗膜に異常が認められないこと	

(2) 施工

ワイヤーブラシやサンドブラスト等で錆落としをした鉄筋は発錆しやすい状態にあるた

め、錆落とし後2時間以内を目途に鉄筋防錆材を塗布しなければならない。また、使用する鉄筋防錆剤に適した使用方法で施工し、均一に塗布しなければならない。

箇所図



1 / 5000